

東永谷中だより

～自ら学び 共に学び 心かよう東永谷～



横浜市立東永谷中学校
横浜市港南区東永谷2-14-7
TEL 045-823-9901 FAX 045-826-3113

令和6年 2月号

『 真 善 美 』

副校長 佐久間 直美

1月上旬、石川県から1枚の写真が届きました。地と地を繋ぐように、かかる橋のようにはっきりとした半円の虹です。私の友人は、交通手段が確保できるとすぐに、被災された高齢のお母さまのもとへ駆けつけました。水を得るために給水タンクの長い列に並んでいるときに目にした虹を写真に撮って送ってくれたのでした。「久しぶりに長く滞在した故郷は、それでも美しい。被災地の雪も虹も美しい。」とメッセージも添えられていました。

石垣が崩れ、道路は歪み、水道は出ない中でも、90歳近いお母さまは、割れずに残ったお皿に手持ちの食材を美しく並べて差し出しながら、「私もう10歳若かったら、もっと被害が大きい場所へ行ってお手伝いできるのに」とおっしゃったそうです。



今この瞬間にも、世界では悲惨なことが起こっています。反対に心揺さぶられるような素敵なことも起こっています。私たちの想像を超えるような出来事がたくさんあります。それらに対して何かできることがあるか模索しながらも私たちは今ここにある日常を生きていかねばなりません。もしかしたら、その地はここだったかもしれないのに、どうしてそこなのか、どうしてその方なのか、どうして私なのかと問うても答えは出ません。世の中には、自分の意志とは関係ない出来事が突如として自分の身に降りかかる、避けようのないことがあります。

起こったことは変えられない。でも、その先に希望を見つけ、どうしたいのか考え自身の心を決め、目指す未来を自分に引き寄せることはできます。例えば、禍わざわいの中でも美しさに気づき人に伝えたり、辛い中でも、人を救い、人を喜ばせたりすることは、結果的に自分の心を満たしてくれると思います。それは、人の前に火を灯せば、自分の前も明るくなって見えるようになることと同じです。

誰にでも備わっているであろう善と美の心は、多くの人と同じ目的に向かって支え合い、乗り越えようとする中で顕著に現れる気がしてなりません。私たちが、多くの人と学校で苦楽を共にする中でも同じことが言えると思います。子どもたちが目標に向かって団結して立ち上がる時に湧き上がる思いやり、正しさへ向かおうとする姿勢、心の強さを発揮する場面を、学校の現場では、数えきれないほど目にしてきました。子どもたちに備わるそういう宝物の輝きを感じた時、明るい未来の世界が目に浮かび、安堵あんどのため息がもれます。

ドイツの哲学者カントは、人間が生きる上での理想の状態を「真善美」という言葉で表しました。「人は真(うそ・いつわりがないこと)をもって他者に善(正しいこと)を成し、自己に美(価値・調和)を得る」という考え方です。いつもそんな風に理想的に生きていかなければと思うのは少々息苦しいですが、古代ギリシャの時代から受け継がれる人間の普遍的な理想の姿は、意図かしなくとも醸し出され、気が付けばそこに厳然としてあるものだと友人のお母さまの話聞き、そう思いました。人間の本質は善であるということ益々信じてくなります。

民宿を開放して、寝泊りをしてもらい、支援者たちを支える「支援者」をニュースで見ました。私は自分に何ができるのか考えた時に、支援者である友人に少しでも癒しを届けたいと思いました。極上の音楽を聴き、美味しいものを一緒に頂き、美しいものに触れ、語らいました。「力が湧きました」と微笑んだ彼女は、また石川県へ支援に行かれます。

皆様、私の友、どうかどうかこの先お気をつけて。

個別支援学級合同学芸会

1月17日 港南公会堂にて「港南区個別支援学級合同学芸会」に参加しました。ダンス、劇、ハンドクラップ、和太鼓など多彩な発表を会場の皆で楽しむことができました。

東永谷中は、「トン中赤ずきん」として、劇やダンスを披露しました。学芸会の練習を振り返ると、自分の役になりきるために「この動きはどうか」「この曲で踊りたいです」など、担任に積極的に相談をしていました。子ども



たちの「こうなりたい」という強い気持ちを実現するために、学級が一丸となり一生懸命練習しました。授業の時間以外にも、休み時間など隙間時間を見つけて練習をしました。



本番を終えて、日々の取り組みの成果を子どもたちの姿から感じることができました。終わった後の表情や生徒たちの会話からも、成長の様子を読み取ることができました。3年生はこれで、個別級としての行事は最後になりますが、学芸会がゴールではありません。これまでの中学校生活で身につけた力を、これからの目標に向かって取り組んでほしいと思います。

(個別支援級担任 赤荻 弘介 教諭)

生徒会「東中王」

1月15日(月)から1月19日(金)の1週間、生徒会主催で東中王が行われました。東中王とは、クラス対抗のオンラインで行うクイズ大会です。例年行っているイベントで、2・3年生には馴染みのあるイベントです。目的は次の3つです。

- ①オンラインを通して他学年と交流し、生徒一人ひとりが煌めく場を作る
- ②クラスの仲を深める
- ③クイズを通して知識と感性を高める

昼休みにクロームブックを使って実施し、他学年とも交流できました。準備にあたっては、生徒会役員が冬休み明けから作問に取り掛かり、それぞれ分担してパソコンでスライドを作り、当日に備えました。問題や解説がわかりやすいように、写真やイラストなども添えて工夫をして作成していました。3年生の役員が引退して、新体制で迎える初めてのイベントでしたが、当日、司会進行係を中心に、その他の役員は、挙手が上がったクラスを伝えたり、点数の計算をするなど、会がスムーズに進むようにサポートしていました。



1日目、1年生にとっては初めてのイベントだったので、ログインしてクラスルームに参加するのに少し時間がかかり、予定時間をオーバーしてしまうという反省点もありましたが、2日目以降はその反省点を活かし、早めにログインして準備してもらえるように、事前に生徒会から学級委員に声掛けをし、予定通り進めることができました。対面で行うものではなかったのですが、画面を通して、それぞれのクラスが一つになり、クイズに集中し、みんなで知恵をしばり参加する姿が画面上から伝わってきました。正解したクラスからは歓声があがり、喜びの気持ちが伝わってきました。



事前の準備も含めて、我々職員は最低限の助言しかしていないのですが、当日も自分たちで会の運営、進行まで協力しながら主体的に動いていたのが印象的でした。新体制の生徒会も去年からのものを先輩からしっかりと引き継ぎ、自分たち主導で行う姿に頼もしさを感じました。今後の活躍も楽しみです。

(生徒会担当 水野 智美 教諭)

昨年末開催 お掃除コンテスト

年度末は様々なものの片付けの時期となります。季節や行事の区切りに身の回りを綺麗に使用することは良い習慣です。12月11～15日の週に、清掃活動や身の回りの整理整頓をする意識の向上をねらいとした「お掃除コンテスト」を実施しました。【教室の床、黒板、ロッカーの美しさ】【班員の参加率】の項目を整美委員が清掃後に評価をしました。各学年の優勝クラスは以下の通りです。

★1 学年 2 組

★2 学年 1 組

★3 学年 1 組

★6・7 組

校内書初め展

お正月の風物詩のひとつ、校内書き初め展が終わりました。三週間の間、書初めがそれぞれの教室を華やかに彩りました。一年生の初めて行書に触れ意欲に満ちた筆使い。二年生の中堅学年としての自信をうかがえる力強さ。三年生の優しさと強さが満ちた強い志。学年ごとの成長を目のあたりにできる書初めを見ると、心がワクワクしてうれしい気持ちがこみ上げてきました。

「書を書く」ということをみなさんはどのように考えますか。いにしえから「言は心の声、書は心の画なり」といわれています。私は「書を書く」とは「想いを紡ぎ、言葉に綴り、人の心の中を映し出す。」ことだと考えます。目の前にある紙を精一杯使い、大きく力強く筆で書くと心が晴れ晴れとします。学年や名前もおろそかにせず力強く書くと、より素晴らしい作品に



なります。一生懸命書き終わったあとには、さわやかな気持ちに満たされることでしょう。心の隅にある「習字は苦手。」という気持ちから、「心を書にしてみよう。」と一歩ずつ歩みだしてみませんか。そこから次の新たな世界が広がるはずです。「書から新たな扉を開く。」何事にも等身大の自分で、しなやかにチャレンジしてみてください。

(国語科 野村 洋子 教諭)

★ 東永谷中学校を愛そう

～学校の“素敵”紹介～ ★

本校自慢の図書ボランティアさんたちから、ひとこと頂きました！

『毎月、図書室を季節に合わせて飾りつけています。ひと足先の季節を飾りつけているので、季節を先取りで感じてもらえます。』

図書ボランティアの活動は、おしゃべりしながら、ゆったりと、飾りの制作や飾りつけをしているので、「月一回の楽しみ」と言ってくれる方もいます。



他学年の方との交流もできるので、行事や受験のことなども聞けたりします。自分の都合に合わせた参加ができ、久しぶりに来てもそんな感じがせず、気軽に活動しています。図書館の本も借りられます。』

毎回楽しそうに笑顔溢れる中で活動をされています。毎回ディスプレイを見るのを楽しみにしている生徒も多いと思います。生徒たちにとって居心地のよい図書室であり、穏やかに過ごせる理由は、本校自慢の図書ボランティアさんたちが楽しく活動されている『その雰囲気飾られている』からなのだと思います。素敵な場所にさせていただき感謝の気持ちで一杯です。いつもありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

能登半島地震から、私たちが知っておきたいこと読んでおきたい本の紹介 ～本校図書室所蔵～

『こどものための防災教室』

今泉マユ子/著 理論社【369/い】

『72 時間生きぬくための 101 の方法』

夏緑/著 童心社【369/な】

『かんたん時短、「即食」レシピ もしもごはん』

今泉マユ子/著 清流出版【369/い】

『親子のための地震イツモノート』

地震イツモプロジェクト/編 ポプラ社【369/い】

『防災アプリ 特務機関NERV』

川口穰/著 平凡社【369/か】 など



<3月の予定>

- 1日(金) 生徒協議会
- 6日(水) 3年生 芸術鑑賞会
- 8日(金) 卒業式予行準備
- 11日(月) 卒業式予行
- 12日(火) **第34回卒業式**
- 14日(木) 1年生 SEPRO
- 22日(金) 大掃除
- 25日(月) 修了式・離任式
- 26日(火)～4月5日(金) 年度末休業

※令和6年度 入学式 4月8日(月)

※予定は変更になる場合があります。

